

石綿（アスベスト）含有建材の特徴

建 材 名（一般名） （通 称）	石綿含有パルプセメント板 防火板
---------------------	---------------------

規 格 等

・ JIS A 5414 パルプセメント板

旧 JIS 規格

・ JIS A 5420 化粧パルプセメント板

製造期間

- ・ 製造開始は、1958 年であるが、多くの製品は 1970 年代前半以降である。
- ・ 製造終了は、2004 年である。

建材の特徴

○性質、寸法、形状など

- ・ セメント、パルプ、パーライトなどの無機質混合材を主原料とし、抄造などにより板状に形成された材料である。
- ・ 防火性、遮音性、吸音性に優れる。
- ・ 軽量で加工性もよい。
- ・ 耐水性が低いので主として内装材として使われるが、外装材として軒天井に使用される例がある。
- ・ パルプセメント板表面に、塗装、印刷、ラミネートなどの化粧を施したものを「化粧パルプセメント板」という。
- ・ パルプセメント板表面に、パーライトを混入し、軽量化をはかったものを「パルプセメントパーライト板」という。

・ 寸法

厚さ (mm)	巾 × 長さ (mm)
5	910×1820
6	
8	

○主な施工部位、使われ方など

- ・ 内装材、軒天井材の製品がある。
- ・ 内装材は基本的には完成品（化粧パルプセメント板）であり、後工程での仕上げ工事が不要である。
- ・ 大半の製品が準不燃材料の認定を受けており、火気使用室への施工が可能である。